開会式会場前

会場入口

アクセス

- 入場券に同封されてきた案内に従ってJR総武線の幕張駅からバスに乗ろうと思ったのですが、駅周辺にバス乗り場は見当たらず、期せずしてタクシーになりました。タクシーの運転手さんも「バスは出ていないはずだよ」とのことでした。スタジアムのHPにも同様な記載があるので不思議です。一般的には最寄りのJR京葉線の海浜幕張駅から徒歩かシャトルバスなのでしょう。（後ほど、幕張駅からのバスは少し歩いたところから発着していることがわかりました。）

一次ゲート

- 写真右手が史上初、国体開会式が野球場で開催された千葉マリンスタジアムです。一次ゲートは仮設スチールフレームにボードを貼っただけの簡易なもので、ここでまず入場パスの簡易チェックがありました。経費節減のためか、警備員は少なく、大半がボランティアスタッフでした。開場時間から間もない時刻のため、まだ人出はまばらです。

待避場所的な大型テント（背後のテントが各ブース）

千葉県内各市町村の紹介・物産販売ブース

会場前広場と各種展示

- スタジアム前の広大な駐車場スペースの大半を使い、
  協賛企業のPRブース、
  県内各地方の市町村の紹介・物産販売ブース、
  スポーツ用品メーカーのPR・販売ブース、
  スポーツ関連団体のPR用ブース
  のテントが百ちかく、余裕を持って並べられていました。（市町村・物産販売紹介は黄色テント、大口スポンサーは赤色テントなどカテゴリーによりテントがおおよそ色分けされていました）。全国に情報発信できる機会ですので特に地域の物産や観光情報発信にとっては大切な場所と思われました。
- その一角には自由に使えるテーブルや椅子を配置した待避所のような大型テントが設けられ、ちょうど風雨の強い時間帯だったこともあり、待ち合わせの人達等が大勢利用していました。（後日、この大型テントは陸上競技の補助競技場にも設置されていました。）
- きれいに舗装されたスペースのため、雨でも問題なく利用されていました。
- 愛媛県総合運動公園でこれだけ広い舗装された場所は少し離れた駐車場しかないと思われ、せっかくのアピールの機会が有効に提供されないのでは、という懸念を抱きました。

第一次ゲート → 入場口

仮設の各窓口

各関係窓口

- 第一次ゲート内に各種関係者受付、招待者受付、再発行窓口などが仮設のテントで多数設置されていました。掲示も非常に大きく、分かりやすそうで、スタッフも多く駐在し、混雑はみられませんでした。一方、スタジアム側に設けられた報道受付は、ある程度行列になっていました。
- 写真手前は、2012 年に国体を開催する岐阜県の岐阜市のご関係者です。愛媛県のご関係者は愛媛FCが四国ダービーで製作・販売したオレンジ色の「Pride of Ehime」シャツを着用して参加予定と伺っていましたが、あいにくお見かけすることができませんでした。

手荷物検査場

入場口

- 入場口はAからFまでの6か所あり、それぞれに写真のような大掛かりな手荷物検査場が設置されていました。（入場口毎に6セットずつ）。列に並ぶと、金属類などを入れるビニール袋を渡されました。
- 相当な雨でしたが、この付近も全てタイル張りで水はけもよく、待機列ができても問題ありませんでした。（ピーク時にはディズニーランドのようにポールで仕切られた通路に待機列が長く続いていました。）

手荷物検査

- 各テントの中央にはゲート状の金属探知機らしきものがあり身一つで通過する仕組みでした。バッグなど手荷物と上記ビニール袋にいれた金属類については探知機脇のボランティアの方による視認・触診を受けました。一般のイベント会場よりもかなり人手をさき、丁寧に検査をしている印象を受けました。両陛下がご来場されるイベントならではというところでした
- 手荷物検査場のテントは奥深く、また続いてスタジアム自体の屋根がありましたので、入場時はかなりの風雨でしたが問題ありませんでした。入ったところで、ビニール袋にはいったウェルカムキットを渡されましたが、「傘はスタンド内ではさせないので」ということでレインコートが入っていたのには驚きました。全数用意されたのでしょうか。
- 一時退場口はこのテントの左脇にあり、係員の方に告げると特にスタンプなどなく退場できました。再入場の際はもう一度検査を受け、パスの提示を行えば問題ありませんでした。
- このような大掛かりな検査場や入場口、さらには待機列がニンスタ周辺に設置できるとは思えませんでした。

会場内

スタンドのうち屋根のある部分

コンコース内飲食売店

スタンド内

- 開場早々に入場したところ、オープニングイベントでマスゲームなどの演技を行うお子さん達が大勢、スタンドやコンコースでスタンバイしていました。スタンドは一部屋根がある上、背後には広いコンコースがあるため、十分に風雨をしのげていました。
- 改修したとしてもニンスタの屋根のあるエリアは限定的になると思われますので、懸念される点です。

コンコース・飲食売店

- コンコース内には、常設の飲食店舗が多数あり、メニューも仕入れている量も豊富そうでした。開会式および一連のイベントは午前中から午後3時半過ぎまで続きますので、3万人近くに対応するには相当な用意が必要と思われました。
- コンコースも十分な広さがあり、上記の待機のお子さん達を十分に収容できていました。
- ニンスタでは飲食売店も待避場所も仮設とならざるを得ないと思われ、建造物周辺のスペースも限られていることから物理的に無理があるように思えました。

（日程）

- 当日の日程は以下の通りでした。（公式サイトより抜粋）

〇開場　9:30

〇オープニングプログラム　10:40～12:50

公募によって選ばれた子供達の演武やダンス、また県内で活動している団体の「パフォーマンス」や県内各地で行われたイメージソングダンスコンテスト上位入賞者とドリームズ・カム・トゥルーのバックダンサーとのコラボレーションなど、ご覧になる方も楽しめるプログラムを展開します。

〇式典前演技　13:05～13:35

『響きあう心に　夢の風』をテーマに、千葉県を代表する伝統芸能として御輿やお囃子で演技の幕が開き、その後、全国トップレベルの柏市立柏高校・習志野市立習志野高校・千葉明徳高校によるマーチング、チアリーディング、バトントワーリングの競演があり、最後に幕張ベイタウン周辺の小・中学生をはじめとした子供達による創作ダンスを華やかに繰り広げるなど、約 2,000 名の出演者が全国から集う方々を歓迎するとともに、様々な千葉県の魅力を表現します。

〇式典　13:51～14:55

千葉県ゆかりの曲に合わせて、全国から集まる役員・選手団が入場します。また、大会のシンボルとなる炬火が、県出身のアスリートにより炬火台に点火され、式典を盛り上げます。

〇式典後プログラム　15:13～15:35

千葉県を代表する銚子大漁節、はね込み太鼓といった伝統芸能を披露するほか、千葉の名産品やチーバくんグッズなどが当たる抽選会を行います。

- この他に、以下のような制約がありました。

〇入場締切　12:15（入場プログラム、HP等に記載通り）

〇退場不可　14:30～15:15（告知・アナウンス無し？）

会場で隣にいらした警備関係の方のお話によると退場制限は両陛下のご退出のためとのことでした。

会場外

車両入路

シャトルバス

マスコットと協賛企業のテント

車でのアクセス

- 関係者車輌以外のアクセスは制限されていることもあり、会場周辺の交通はとてもスムーズでした。前述の通り、期せずしてJR総武線幕張駅からタクシーで向かうことになりましたが、タクシーは全く渋滞にかからず、かなり奥まで入らせてもらえました。私のような不届き者ではなく、お体の具合などでタクシーを利用しなければいけない方々にはとても優しい状況だと思いました。
- なお、千葉県では、本国体に対し、下記のような「開・閉会式交通輸送総合調査業務」を800万円かけて外部委託し計画を策定したようです。

http://www.kokutai-2010chiba.jp/kokutai/themes/kkutai/data/download/03.pdf

シャトルバス

- シャトルバスも2両連結の最大級のものでしたが、JRの駅から歩いても問題なく来場できるためか、バスが往復する頻度は低く、交通への支障はないようでした。ほぼ100%、バスで3万人近くを運ばなければならないニンスタとは全く比較にならない環境です。愛媛県でも中央公園であれば、輸送能力が遥かに高いJRの列車や伊予鉄の電車を利用できるのですが。

付帯施設

- もうひとつ、スムーズな開会式の運営に大きく貢献していると思われたのが幕張メッセの施設です。各都道府県の選手団や関係者などは多数、この施設を拠点に会場と行き来（徒歩数分）していたようで、そのためのバスも非常に少なかったと思われます。愛媛県総合運動公園にこのような施設はいまのところ体育館一つしかなく、仮設するとしても相当な費用になると思われます。中央運動公園であれば、武道館、屋内運動場、競輪場（場合によっては屋内プールも）などさまざまな建物が関係者の拠点として利用できると思われます。

その他

仮設トイレ

仮設トイレ

- 新しいように思えますが、千葉マリンスタジアムは開設からすでに約20年を経ており、バリアフリー対応など現在の標準には適合していないところもあるようで、このトイレのように仮設で対応しているところがいくつかありました。国体開会式のためだけにかけるコストを抑えようとしたことがこのあたりにも伺えます。本当はこういった、後日、いずれ必要となる設備は、国体整備予算で手当てされるべきと思われますが。

協賛企業一覧ボード

協賛企業

- 数百社におよぶ募金・協賛された企業・団体の一覧リスト。愛媛国体の場合、どれくらい集まるものでしょうか。

マスコットと協賛企業のテント

マスコット

- マスコット、チーバくんが愛嬌をふりまいていたのは最も格が高い（協賛金が多い）と思われる協賛企業のブース前でした。なかでもイオンは最大のスペース、人員を配置し、ステーショナリーキット（下敷き状ですがパーツを切り抜くと定規などになります）を無料配布したり、クレジットカードの募集を受け付けたりしていました。愛媛国体ではフジの頑張りに期待したいところです。
- マスコットは特に新たに創りださずに愛媛FCのオ～レくん、たま媛ちゃん、伊予柑太、マンダリンパイレーツのマッピーが前面に出て頑張ればいいのではないでしょうか。彼ら以上に愛媛を体現できるキャラクターを簡単には生み出せそうにない上、一流のデザイナーにお支払いするデザイン料他、いろいろな費用も節約できると思います。公募などあるようでしたら、サポーターグループに呼びかけようと思います。

オープニングプログラム

オープニングプログラム（1）

式典前のイベント

- まだ雲行きが怪しいうちにオープニングイベントが開始されました。当初から炬火台が設置されておりこれを取り囲むように演技が行われました。 炬火台がこのように仮設になることには様式・格式などの点から、反対意見もあるかと思いますが、炬火台を使うような大会は数十年に一度しかないと思われますので、そのために専用の設備を設けることについては議論があってもいいと思います。
- この段階では来場者はまだ1～2割程度です。
- 薄暗いため照明も一部点灯されていました。照明器具が旧来の照明塔ではなく、屋根の庇にそって分散設置されているサークルラインのため、自然な明るさで点灯していることに気付かないくらいでした。

オープニングプログラム（2）

常設広告看板の効用

- 写真下部、ダッグアウト上のロッテの大きなロゴや外野の壁面など、スタジアム内には大型の常設看板、広告が多数掲示されており、これらの掲出企業には今回、NHK等の放送を通じて全国への露出が提供されたことになると思います。
- 早期に坊っちゃんスタジアムでの開会式開催を決定できれば、契約メリットの一つとして契約獲得・更新の際にこの点を示すことができるのではないでしょうか。

大型カラービジョンでフィールド内インタビューを表示

大型カラービジョン

- オープニングイベントの演技者に対しゲスト（テリー伊藤さんなど）がインタビューを行い、その様子を大型ビジョンで表示していました。こういった演出を含め、フルカラービジョンは必須と思われます。
- 千葉マリンスタジアムはマルチビジョンを備え、右側のビジョンでは手話による情報が伝えられています。
- 坊っちゃんスタジアムには現在カラービジョンはありませんが、2012 年開催予定のプロ野球オールスターゲームにも活用できると思いますので（といいますか、いまどき必須とも言えるでしょう）、国体も視野に入れて早期に設置計画が策定されることを望みます。

式典前演技

式典前演技（１）

オープニングイベント⇒式典前演技

- お昼頃には台風一過で風は少し残ったものの、すっかり晴れ上がりました。このころにはお客さんも7割程度埋まりました。はからずして今回、風雨の強い状況と晴天の状況両方を観察できました。2017年9月の愛媛県における開催では台風の影響を十分に想定して計画が立てられるべきと思いますので、今回の設営・運営状況は愛媛県にとっても参考になったのではないでしょうか。
- こうして実際の式典の前にイベントを行うことで、アクセスの面では来場タイミングが分散されるというメリットはあると思いますが、一方で、長時間会場内に滞留される方がたくさんいらっしゃることから、トイレ、飲食、救護など様々な施設面が不足することが懸念されます。

式典前演技（２）

報道用やぐら

- 写真左下は仮設の報道用やぐらです。コンコースからの入場通路上部にスチールフレームで仮設されています。ロイヤルボックスなど野球中継では使用しないアングルからの撮影が必要のようでした。スペースに比べ報道陣の人数が多くかなり窮屈そうでした。場外に中継車が多数停車していましたが、通常の中継車用停車スペースでは足りないようでした。
- この施設の設営は坊っちゃんスタジアムで開催する際にもおそらく必要となるものと思われました。

炬火台

- 炬火台は開場前からマウンド付近に置かれていました。おそらくハリボテ的につくられたものですが、外観、機能ともに十分なもので、会場内の中心にあることで、来場者全員の注目を集めやすいと思われました。

式典前演技参加者退場

退場ルート

- 式典前演技参加者はレフト側通路から問題なく退出していきました。坊っちゃんスタジアムにも同様な通路があり、おそらく同様な退場通路として利用できると思われます。

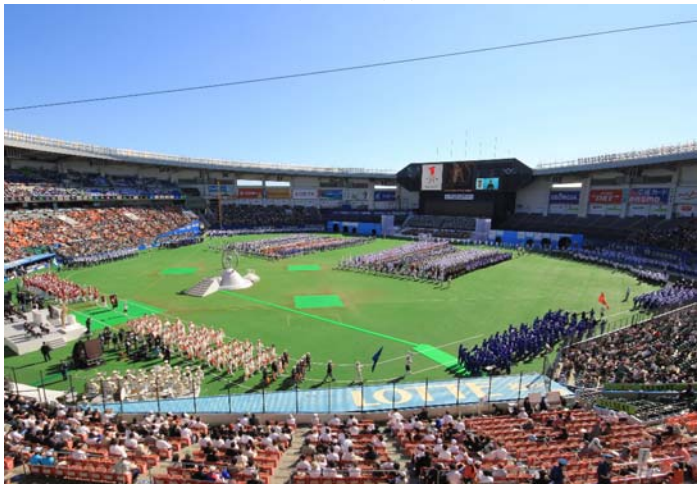
開会式

入場行進（1）

選手団入場行進開始

- 選手団はレフトポール下通路から入場し、
  ⇒ 三塁側ダッグアウト前
  ⇒ ホームベース上
  ⇒ 一塁側ダッグアウト前
  ⇒ 外野フィールド ⇒ 整列
  という順路にあらかじめ引かれた白線に沿って行進しました。陸上トラックのコーナーよりきついカーブを曲がる必要がありましたが、天皇陛下のお言葉にもあった通り、とてもきれいな入場行進でした。観客席との距離という点でも陸上競技場とそん色ないか、かえって近いところもありました。
- 入場行進時に、1塁側の応援席から地元の小学生だと思いますが、3ブロック（多分）に分かれて各県に横断幕を出したりして応援していました。野球場ならではの趣向でした。

入場行進（2）



選手団入場行進

- 入場した選手団はバックネットに向かって二塁ベース付近を先頭に外野側にレフト側からライト側に整列していきました。
- 千葉マリンスタジアムと坊っちゃんスタジアムの一番大きな違いは人工芝か天然芝か、また内野に芝生があるかないかです。（坊っちゃんスタジアムの内野は土のグラウンド）。この写真にも見られる通り、ベースの上にはマットが引かれており、一塁や三塁ベース付近は大勢の選手団があるいていますので土の上はマットを敷けば問題ないものと思われます。
- 天然芝のエリアはニンスタで a-nation を開催するときのようにパレットを敷くことになると思います。ニンスタでも直後にJリーグの試合開催があったこともあり問題ないと思われます。そもそも坊っちゃんスタジアムの芝生は使用頻度が高すぎるためか、かなり傷んでいるようですので、養生が必要のようですが。（アマチュア野球関係各団体の強い要望により、天然芝を維持する必要があると伺いました。）

入場行進（3）

全都道府県整列

- 愛媛県がかつて坊っちゃんスタジアムでの開会式を検討した際、野球場が国体開会式には不適とされた最大の理由は「全都道府県選手団が横一列に並べないこと」および「待機場所がないこと」でしたが、今回の様子をみる限り、いずれも全く問題ないのではと思われました。各都道府県がコスト削減のため競技ごとの参加日程をシビアに管理し、開会式参加人数を絞ったからか、今回の各都道府県選手団は合計で約 5,600 人と報道されており愛媛県が検討の際に用いた 8,000 人の7割に留まり、余裕で一列に整列できています。愛媛県による検討時点と前提条件が大きく変わっているわけですから、（決して検討が不十分・不適だったわけではなく）、新たな条件で再度検討していただければと思った次第です。

2010 年 9 月 25 日(土)

開会式

式典開始

式典

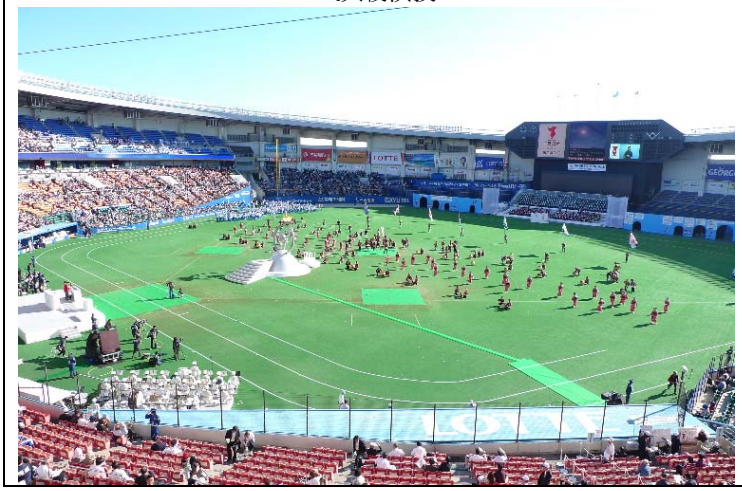
- 全選手団がそろったあと、全体が二塁ベース付近から炬火台が置かれているマウンド付近まで一斉に前進し、式次第に移りました。
- 式典の進行については昨年テレビで観た新潟国体(陸上競技場)とさほど大差ないように思えました。野球場での開催により特別な対応となった手順はなかったように思います。

選手団退場

炬火点火⇒選手団退場

- 炬火が点火され選手団の退場となりました。炬火台がマウンド付近にあることから選手団・観客ともに視線を集めやすかったと思います。
- 選手団退場と同時に会場からの退出が可能となりましたが警備の関係で 14:30～15:10 までは退出できませんでした。にの退出禁止時間帯については、ほとんど告知やアナウンスがなく、大きなクレームの原因となっていました。また本来は 15:15 から退出開始となっていたようですが、退出者が殺到したからか 5 分繰り上げて 15:10 から退出開始としたようです。(15:10 頃にはすでにスタンドには半分程度のお客さんしか残っておらず退場口が混雑したための繰上げと思われます)。それまでの間は原則、退場を認めないとのことで、来場口においてトラブルになっていたケースもみられました。退場禁止については予め周知しておかないと、仕事やどうしても外せない行事(実際の例では「結婚式の司会に遅れる」といったケースをみました)などで大きな問題となりそうでした。

式典後演技



式典後演技

- 15:13 から式典後の演技・抽選会などが行われました。これには退出や交通を分散させる意図もあったと思われますが、スタンドにはすでに三分の1程度のお客さんしか残っておらず、退出の分散効果は限定的のようでした。閉会時には来場者の大半が一度に退出、帰途に向かう想定が必要と思われました。
- シャトルバスしか交通手段の無い愛媛県総合運動公園では3万人が帰途に着くまででさえどれくらいかかることでしょうか。